

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公表番号】特表 2002-530453 (P2002-530453A)

【公表日】平成 14 年 9 月 17 日 (2002.9.17)

【出願番号】特願 2000-582457 (P2000-582457)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 J 5/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/521 (2006.01)

C 0 8 L 51/00 (2006.01)

C 0 8 L 57/00 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

C 0 8 L 85/02 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 J 5/00 C E R

C 0 8 J 5/00 C E Z

C 0 8 K 5/521

C 0 8 L 51/00

C 0 8 L 57/00

C 0 8 L 67/00

C 0 8 L 85/02

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

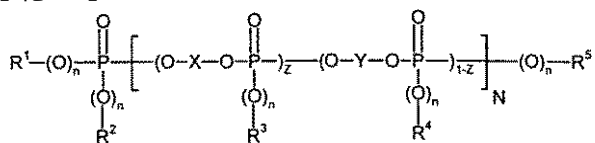
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 芳香族ポリ(エステル)カーボネート、10 未満のガラス転移温度を有する、1 種以上のグラフトベースへの 1 種以上のビニルモノマーのグラフトポリマー、熱可塑性ビニル(コ)ポリマーおよびポリアルキレンテレフタレートから成る群より選択される少なくとも 2 つの成分と、更なる成分として、下記の式 (I) のリン化合物 0.5 ~ 20 重量部を含有する熱可塑性成形用組成物。

【化 1】



(式中、X および Y は、炭素数 6 ~ 30 の単核または多核の芳香族基を表し、そして X と Y は互いに異なり、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 および R^5 は、互いに独立して、場合によりハロゲン化された $C_1 \sim C_8$ アルキル、あるいはそれぞれ任意にハロゲンおよび/または $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換された $C_5 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_6 \sim C_{20}$ アリールもしくは $C_7 \sim C_{12}$ アラルキルを表し、z は、0.05 ~ 0.95、好ましくは 0.15 ~ 0.85 を表し、n は、互いに独立して、0 または 1、好ましくは 1 を表し、そして N は、0.5 ~ 30 を表す。)

【請求項 2】 A . 芳香族ポリカーボネートまたはポリエステル - カーボネート 5 ~ 95 重量部、

B . B . 1 1 種以上のビニルモノマー 5 ~ 95 重量 % の

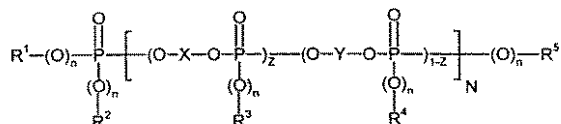
B . 2 ガラス転移温度 - 10 未満を有する 1 種以上のグラフトベース 5 ~ 95 重量 %

へのグラフトポリマー 0.5 ~ 60 重量部、

C . 熱可塑性ビニル (コ) ポリマーおよび / またはポリアルキレンテレフタレート 0 ~ 50 重量部、

D . 下記の式 (I) :

【化 2】



(式中、X および Y は、炭素数 6 ~ 30 の単核または多核の芳香族基を表し、そして X と Y は互いに異なり、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 および R^5 は、互いに独立して、場合によりハロゲン化された $\text{C}_1 \sim \text{C}_8$ アルキル、あるいはそれぞれ任意にハロゲンおよび / または $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルキルで置換された $\text{C}_5 \sim \text{C}_6$ シクロアルキル、 $\text{C}_6 \sim \text{C}_{20}$ アリールもしくは $\text{C}_7 \sim \text{C}_{12}$ アラルキルを表し、z は、0.05 ~ 0.95、好ましくは 0.15 ~ 0.85 を表し、n は、互いに独立して、0 または 1、好ましくは 1 を表し、そして N は、0.5 ~ 30 を表す。)

のリン化合物 0.5 ~ 20 重量部、

E . フッ素化ポリオレフィン 0.05 ~ 5 重量部

(前記の全成分の重量部の和は 100 である)

を含有する熱可塑性成形用組成物。

【請求項 3】 式 (I) のリン化合物が、平均 N 値 0.5 ~ 10 のリン化合物の混合物である請求項 2 に記載の成形用組成物。

【請求項 4】 グラフトベース B . 2 が、ジエンゴム、アクリレートゴム、シリコーンゴムまたはエチレン / プロピレン / ジエンゴムである請求項 2 ~ 3 のいずれかに記載の成形用組成物。

【請求項 5】 周期表の主分類第 1 ~ 第 5 類または副分類第 1 ~ 第 8 類と、酸素、硫黄、ホウ素、炭素、リン、窒素、水素およびケイ素から成る群より選択される少なくとも 1 つの元素との非常に細かく分割された化合物を含有する請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の成形用組成物。

【請求項 6】 安定化剤、顔料、離型剤、流動助剤、無機強化材料、ナノ粒子および / または帯電防止剤から成る群より選択される少なくとも 1 種の添加物を含有する請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の成形用組成物。

【請求項 7】 請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の成形用組成物から製造された成形物品。